

県財政「改革」で
市長に申し入れ

日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)が

医療費無料化維持を求めました



▲川尻副市長に申し入れる共産党野洲市議団(6日)

滋賀県が「財政構造改革プログラム」で乳幼児医療費の自己負担増を県予算に盛り込もうとしています。このようなことになれば、市民負担と市財政に大きな影響を受けます。

日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)は6日、山崎市長(川尻副市長に提出)に対して、県が進める「財政構造改革プログラム」の見直しと医療費無料化の市独自成制度の維持を申し入れました。

県が進める「改革案」で野洲市の場合、向う3年間で、1億3700万円(当初改革案試算)もの影響がでます。この内、乳幼児医療費の県負担は7500万円も削減されます。いま、県政に必要なことは、これまでの自民・公明内閣の「三位一体改革」と県財政におけるムダな公共事業の検証と見直しであり、市民生活と市町財政を守ることであります。これまで、市民の世論と運動でつくりあげてきた医療費無料化制度の存続へがんばります。

福祉医療助成制度の維持を求める要望書

日頃、市民福祉の向上にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、滋賀県において、新年度以降の県財政が400億円を超える歳入不足となり、それに対応するためとして、「財政構造改革プログラム」を明らかにしました。

しかし、その内容は、これまで市民と行政がつくりあげてきた、福祉医療費助成制度をはじめとする医療、教育などの諸分野・制度について、県負担金・補助金を削減させるものです。この「改革案」が実施されますと、野洲市でも、その影響は、実に1億3700万円にもなり、市民の暮らしと市財政に大きな影響を及ぼします。

このような事態に対して、「改革案」の見直しを求める県民世論と運動が広がり、また、県下市町長及び市町議会からも強い要望が出されました。これを受け、知事は乳幼児医療費削減案について、若干の見直し(通院1レセプト当初案1500円負担を1000円に、入院1日当初案2000円負担を1500円に)を明らかにしました。しかし、見直しがされたといえ、市民や市に大きな負担を強いるものには変わりはなく、これまでの知事公約に反するものです。

いま、必要なことは、これまでの自民・公明内閣がすすめた「三位一体改革」と県財政におけるムダな公共事業の検証と見直しであり、市民生活と市町財政を守ることです。よって、以下の事項について、対応されることを要望します。

1. 引き続き、滋賀県に対して、市民の暮らしと市財政に重大な影響を及ぼす「財政構造改革プログラム」の見直しを主張されること。
2. 乳幼児医療費助成制度において、県負担分が削減された場合においても、現行の市助成制度(完全無料化)を維持されること。
3. その他、福祉関係削減分に対しても、市として補てんされること。

3月定例市議会日程(2月27日~3月26日)

2月14日(木)	会派代表者会議
19日(火)	議会運営委員会
27日(水)	本会議(議案提案)
3月6日(木)	本会議(議案質疑、代表質問)
7日(金)	本会議(一般質問)
10日(月)	本会議(一般質問)
11日(火)	本会議(一般質問)
12日(水)	常任委員会(議案審議)
13日(木)	常任委員会(議案審議)
14日(金)	常任委員会(議案審議)
17日(月)	常任委員会(議案審議)
21日(金)	常任委員会(議案審議)
24日(月)	常任委員会(議案審議)
26日(水)	本会議(議案討論、採決)

本会議、常任委員会は午前9時から開会です。(11日と26日については午後1時から)ぜひとも、傍聴にお越しください

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2008年2月10日 139

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184

(Eメール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102

(Eメール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~nonami/